神戸市会議員(西区)二期目 自由民主党神戸市会議員団 市政報告

平成30年3月発行 **111** 下てんせい vol.10



2017 年度は、自民党神戸市会議員団の副幹事長、また大都市行財政に関する特別委員会の副委員長を務め させていただきました。年を重ねるごとに要職を任せていただき、また運営に携わっていく毎に、責任の 重さを感じずにはいられません。

さてこの度も、一年間の活動を振り返りますが、これまでに提案してきた政策や予算について踏み込んだ 記事となるように構成いたしました。ご一読くださいませ。

2018年3月吉日 自由民主党神戸市会議員団 副幹事長 山下 てんせい

いまだから考えたい、西区と農業

東京・有楽町にある NPO 法人「ふるさと回帰支援センター」を視察した際、相談員の田村さんより「最近は<mark>営農希望</mark>で移住相談される方が増えている」と伺いました。また、田舎暮らしとは言いますが程よく都市型の田舎が選ばれているようです。

このことを JA 兵庫六甲の方にお伝えすると、ちょうど時を同じくして、櫨谷町に、総面積約 1.2ha の 最先端ハウス施設を設置し、トマト農家を育成する塾を開始するとのことです。

神戸市総面積 55,000ha のうち 約 10%を農地が占めており、その うち約 60%にあたる 3,000ha が 神戸市西区にあります。

この環境を生かし、今一度

「西区と農業」という視点に立った 施策を考えることが、西区の人口 減に歯止めをかけるポイントにな ると考えております。

西区の農産物

平成 29 年決算総括質疑より

平成 29 年の決算特別委員会にて、会派を代表して山下てんせいが総括質疑に登壇いたしました。 質疑内容は、他の議員からお預かりしたものもありますが、大きく 6 つのテーマです。

- 1・公共建築物における木材利用の促進
- 2・上下水道管工事における悪徳業者対策(預り)
- 3・AI 技術の活用
- 4・生田川右岸線の機能強化、および公共交通の利便性向上
- 5・卸売市場の活性化(預り)
- 6・小学校における外国語掲示の是非について(預り)



公共建築物における木材利用の促進について

昨年から取り組んでいる重点テーマであり、区役所庁舎や学校園の建築材として木を積極的に利用するように働きかけるものです。市長は「木の持つ断熱性や吸湿性、また素材としての温かみは、市民にぬくもりのある快適な空間を提供できる」と答弁され、これから新設する学校や保育所、児童館などで積極的に取り入れていくという方針を示されました。特に西区新庁舎ではコストや法令の制限等、木材利用の効果などを考慮して、内装の木質化を中心に検討するということでした。

AI 技術の活用について

市長は神戸市の仕事の仕方が AI 以前の段階であると評価されており、まずは ICT 化を追いつかせない といけないと答弁されました。この点については、久元市長になって以来ようやく進みだした印象を持っております。しかし、それでもまだまだ遅いという危機感を共有しておりました。

かつて DV 被害から逃れるためにシェルターに入ったのに、加害者の男性に情報を送ってしまったがために発見されてしまったという悲劇がありました。また、市民からの問い合わせに対して、直通電話でこれを受け付けて、電話で相手の名前や住所を書くといった遅れた対応をしております。市長はこれを称して「明治維新と戦後の民主化を一緒にやらないといけない」と例えられました。こういった市役所改革を断行する姿勢が確認できたという点では、質問の手ごたえを感じました。

生田川右岸線の機能強化および公共交通の利便性向上について

西区や北区、垂水区北部と北須磨の住民は、どうしても車社会になってしまいます。三宮へ車で向かった際、南北の連絡道が整備されないまま都心が封鎖されると困ります。鳥居副市長もその点を認められ、交差点部を中心にまずは容量拡大を行うなどの検討をすると答弁されました。

また公共交通の利便性について、料金施策に話題が及んだ際、私は通学に対する市からの手当てによって神戸に住みやすい、また学びやすいイメージを持っていただき、人口流出を阻止しようと提案しました。とりわけ長距離通学している高校生の通学定期割引について質問した際、市長は同じ問題意識を持っていると答弁され、その後調査等を経て、まずは北神急行から通学定期の割引が実現しました。今後さらに、できる範囲を広げるよう提案していきます。

自民党予算要望に対しての回答について

自民党神戸市会では、毎年 11 月ごろに予算要望に対する回答を基に、市長と意見交換会を行います。今年度は 12 月 4 日に開催されました。山下てんせいも、以下のような施策を提案してきました。

●国際競争力向上のため、世界の都市ともっと交流を

神戸市は平成 28 年に、今後の国際交流施策の指針として「神戸市国際交流 推進大綱」を作成しました。これは旧来の姉妹都市の枠にとらわれず、経済的 メリットや都市間競争に打ち勝つことを考えた交流を推進する内容となってお り、平成 30 年度は、経済交流に向けた国際協力やビジネスコーディネーター の配置等で約 3500 万円の予算がついております。

! 西区庁舎が、区民の声を反映した機能を持つように

新庁舎の設計・建設は土地の所有者である OM こうべが請け負うこととなり 平成 30 年はその要求水準書をとりまとめる予定です。

私は新庁舎には「西区を体現するデザイン」と「区民が求める機能を保持する こと」を再三求めてまいりました。

現在、エントランスホールを多目的にすることや、地域活動の交流コーナーへの配慮・確保を検討していただけること、また木材もできうる限り活用する方向で考えるというお答えをいただいています。

∮健康寿命延伸のために、栄養士の活躍の場を広げること

私が議員となってから継続的に取り組んでいる、難病連との意見交換の中でも、しばしば取り上げられるトピックです。個人で栄養管理をすることは難しいものですが、神戸市では、市民の食や栄養相談、健康教育を行っています。その担い手が地域の管理栄養士や栄養士の皆さんです。

また母子健康教育・離乳食の作り方講座事業などの母親支援、学童・思春期 食育セミナー等の教育支援など、様々な事業に予算がついておりますが、総額 では700万弱と十分とはいえません。私はもう少し多く予算措置いただくこ

とで、より多くの区 民の皆様が指導を受 けられるように提言 を続けていきます。









買い物が不便だし

難しい料理は

おっくうだなぁ・・

●農村地域で、新たな農業従事者等の定住促進を

今回のトピックスでも紹介しましたが、新規就農者として移住されるためには住居の確保や地域での基盤づくりなどが必要です。一方、新規就農を促進することは、個々の集落が活力ある地域として持続的に維持・発展していくうえでも重要な課題です。

神戸市では平成27年に住宅系の開発許可基準を緩和したのを皮切りに、農村 定住促進コーディネーターを配置し、平成28年には里づくり支援事業の拡充 などのテコ入れを継続的に行っています。平成30年度の予算では4200万円 を計上していただきました。

● 西神中央駅前ロータリーや広場を、もっと有効活用するように

このテーマについて、毎年のようにゼロ回答をいただいてきましたが、今年 度はじめて「現在のバスターミナルにおけるご利用者の状況を踏まえながら 乗り場・降り場・バスの待機方法などを工夫することで一定のスペースは生み 出せる」という記載が加わりました。

コンパクトにすることで、駅や乗り場までの距離が短縮されるうえ、余剰地を 他に活用する可能性も出てまいります。今後は費用対効果も考え、より具体的 な提案をしていく所存です。

なお計画的開発団地のリノベーション予算は、8億8278万円計上されております。

∮ 小中学校におけるスマホ利用やネットリテラシー教育について

このテーマは、青少協活動を通じて痛感した喫緊の課題です。子どもたちへのネットリテラシー(インターネットを正しく使いこなす能力)教育は、犯罪やトラブルに巻き込まれることを未然に防ぐためにも必要です。また、保護司の皆様等、日ごろから実務に携わっている方々の知見や情報を集めることはきわめて有効だと考えます。

現在神戸市では、学校ネットパトロールやネットいじめ防止プログラムなどで 400万円弱の予算がついておりますが、まだまだ少ない。今後は研修や勉強会にも補助が付くよう働きかけてまいります。

市会西区 山下てんせいの活動は facebook またはホームページにてご覧ください。 市政に対するご意見は、t.yamashita128@gmail.com まで

山下てんせい

検索

会派 HP http://www.jimin-kobe.com/

行元:自由民主党神戸市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 市役所 1 号館 TEL:078-322-5846 FAX:078-322-6164